

<u>6月30日(土)</u>	13時~17時30分 <記念シンポジウム> 17時40分~18時30分 <第15回総会> <small>総会終了後、懇親会を予定しております</small>
<u>7月1日(日)</u>	9時30分~12時15分 <分散会>
<u>会場(両日とも)</u>	コープイン京都

第15回総会記念シンポジウム

地域社会と協同力

- 家族、コミュニティの今から暮らしを考える -

格差社会の進行や東京一極集中など地域の変化は激しく急です。このようなときに、あらためて地域それ自体をテーマに取り上げることの意味を明らかにしておきたいと思います。地域という言葉は広すぎてとりとめがないといわれます。もちろんそういう面もありますが、問題は私たちの地域イメージにもありそうです。

ともすると、両親と子どもがいる核家族を単位として、商店街があつて、中小企業があつて、農業もあつて...、というのが地域だという考え方があります。しかし、このような地域が存在しにくくなっているのが現実です。とらえどころが無いようにもみえる地域の実態に近づくために、いま起きている変化に注目しつつ、より流動的な地域のイメージを再構成していく必要があると私たちは考えています。

流動的という意味では、家族のあり方はぜひ取り上げる必要があります。家族は流動化する地域の原型のようなものですし、この流動化する家族を補完し、かつこれらと平行して流動化しているコミュニティ(人々の共同的关系)の現実があります。

私たちは、地域の深部で起きている変化を、みておく必要があるのではないかと考えています。

今日、コミュニティという言葉ほど争点になっている言葉はありません。一方には、そこに自由な個人だけを見て、もはやコミュニティは存在しないという超近代主義の立場があります。他方には、昔の安定したコミュニティ(共同体)の復活を主張する超伝統主義の立場があります。こうした両極の原理主義にもとづかない、立場が違う人にも共通の議論の場を提供することができるような、コミュニティ観の深化が必要ではないでしょうか。

地域という場合、この家族とコミュニティのあり方を無視することはできません。また、地域における人々の社会参加を問題にしようとするれば、公助、共助、自助の関係(ソーシャルキャピタル)がどうなっているのかという視点も必要です。

以上のような視点から、私たちは今回、生協から地域をみるのではなく、地域から生協がどのようにみえているのかということに注目していくつかの事例を調査することにしました。これらの調査からみえてきた生協の姿はどのようなものだったのでしょうか。あるいは、地域ではどのような協同が新しくはじまっているのでしょうか。これが、シンポジウムで私たちが明らかにしたいことです。

的場信樹(くらしと協同の研究所研究委員会代表)

プログラム ・ 会場 (コープイン京都)

終了時間は、若干前後することがありますのでご了承ください。

第1日目 6月30日(土) 13時~17時30分

【記念講演】 現代の地域コミュニティの新しい動向

- サザエさんの地域コミュニティをヒントとして

講師：鳥越 皓之氏 (早稲田大学人間科学部 教授)

<専門> 社会学、民俗学 / 環境問題、地域計画

<主な履歴> 関西学院大学社会学部教授、筑波大学大学院人文社会科学研究所教授を経て現職

<研究内容> まちづくりやNPO及びコミュニティの組織づくり、また、景観論などについて言及することが多い。ここ数年は、イギリスやグラテマラ、中国の湖を対象とした研究をしていた。また奈良県の吉野山の桜についての民俗・歴史的な分析をしたりもしている。(早稲田大学HPより)

【シンポジウム】 地域社会と協同力 - 家族、コミュニティの今から暮らしを考える

解題・コーディネーター：的場 信樹 (佛教大学 当研究所研究委員会代表)

報告 地域の暮らしを支える協同と福祉 - 京丹後市「常吉村営百貨店」の事例から

報告：上掛 利博氏 (京都府立大学 当研究所研究委員)

報告 新たな協同と地域コミュニティ - 生協しまね「おたがいさま」の事例から

報告：岡村 信秀氏 (広島県生協連専務理事 当研究所理事)

報告 地域社会の再構築に協同組合は寄与できるか - 福井県民生協の事例を中心に

報告：北川 太一氏 (福井県立大学 当研究所研究委員)

第2日目 【分科会】 7月1日(日) 9時30分~12時15分

一日目の報告者は、コメンテーターとして各分科会に参加します。

第1分科会 / 過疎・高齢地域の再生の課題を探る 京丹後市大宮町を事例に

司会 / 井上英之氏 (大阪音楽大学教授)

報告 / 大木満和氏 ((有)常吉村営百貨店代表取締役社長)

川口勝彦氏 (奥大野村づくり委員会事務局長、京丹後市総務部総務課長)

過疎・高齢化地域における仕事おこし・まちづくりと協同性の再生、集落(コミュニティ)の維持と地域・行政の役割、について考えます。

第2分科会 / 開かれた活動がつむぐ地域の協同と生協の可能性 生協しまね “おたがいさま” 徹底分析

司会 / 二場邦彦氏 (立命館大学名誉教授)

報告 / 木佐ふじ子氏 (おたがいさま・いずも代表、生協しまね理事)

“おたがいさま” という新しいアクションが作り出す「共同性 = 結び」の今日的意味と可能性、生協の組織と事業に与えるインパクト、地域から見た生協の存在価値などについて考えます。

第3分科会 / 福井県民生協がめざす地域に根ざした“事業ネットワーク”づくり

司会 / 的場信樹氏 (佛教大学教授)

報告 / 久島雅夫氏 (福井県民生協組織本部統括部長)

福井県民生協がめざす“事業ネットワーク”とは何か。組合員政策、店舗事業と子育て・福祉事業との連携、地域社会への貢献といった観点から考えます。

第4分科会 / 生協の “おしゃべりパーティ” 徹底分析 その可能性を探る

司会 / 浜岡政好氏 (佛教大学教授)

報告 / 平田ちづる氏 (長崎ララコープ理事)

コメント / 毛利敬典氏 (教育アドバイザー)、ほか

おしゃべりパーティからみえてくる “今の暮らし” と地域と家族に与えたインパクト、おしゃべりパーティが持つ可能性とそれを支え、広げる条件などについて考えます。

= 参加要項 =

申し込み：この案内の裏面に印刷されている『第15回総会記念シンポジウム申込書』に必要事項をご記入の上、FAXなどでお申し込みください。

会場：コープイン京都（京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル TEL：075-256-6600）

定員：150名（会場の都合上、定員になり次第受付を締め切らせていただきます）

参加費：会員 両日参加 3,000円（1日のみ 2,000円）

非会員 両日参加 5,000円（1日のみ 3,000円）

学生・院生 両日参加 2,000円（1日のみ 1,000円）

会員価格は、団体会員の構成員にも適用します。

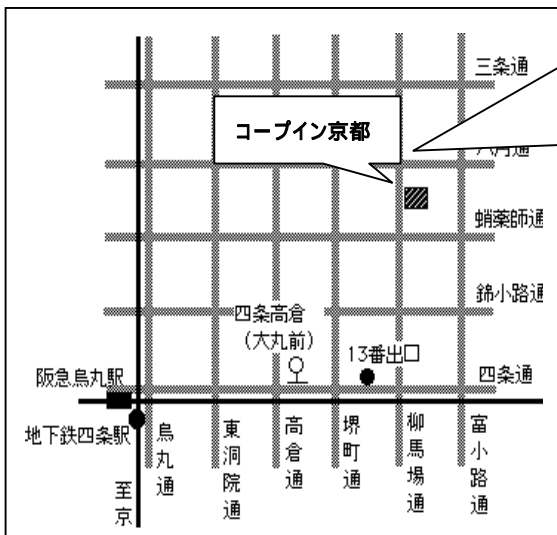
宿泊：斡旋いたします。（一泊朝食付で7,500円程度）

懇親会：30日のシンポジウム・総会（オブザーバー参加可）終了後、午後6時半ころより懇親会を行います。（会場はコープイン京都）お時間の許す方はぜひ、ご参加ください。参加費 / 5,000円

会員（個人会員）のみなさまへは総会参加の出欠確認ハガキをお送りしています。かならずご返送ください。

会員以外の方も総会へのオブザーバー参加、懇親会へのご参加を積極的にお願いたします。

【会場地図】



コープイン京都

京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル

TEL 075 - 256 - 6600

地下鉄「四条駅」、または

阪急「烏丸駅」下車徒歩13分



お申し込み・お問い合わせは くらしと協同の研究所

〒604 - 0851 京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町 291

TEL: 075 - 256 - 3335 FAX: 075 - 211 - 5037

E-mail: kki@ma1.seikyone.jp ma1の1は数字の「1」です。

URL: <http://ha1.seikyone.jp/home/kki/>

くらしと協同の研究所 第15回総会記念シンポジウム 参加申込み書(団体&個人)

締め切り日 6月15日(金) 定員 150名(定員になり次第受付を締め切らせていただきます)

団体集約用

(研究所会員・非会員) いずれかに を

記入欄が不足の場合は、コピーしてお使いください。
参加費は、同封の振込用紙で事前にお振込ください。
また、各団体で取りまとめてお振込いただければ幸いです。

団体名								記入者名			
記入者 部署名				電話番号 部署直通で	TEL		FAX				
住所	〒										
参加者氏名	役職	6月30日		7月1日 分科会				参加費 合計	お支払い		宿泊 幹旋
		シンホ	懇親会	第1	第2	第3	第4		振込	当日	30日

個人申し込み用(研究所会員の方)

個人会員の方には、別途「総会出欠確認ハガキ」をお送りします。

シンポジウムもそのハガキでお申込みください(欠席の場合も、ハガキが委任状になっておりますので、ご返信いただきますようお願いいたします)。

個人申し込み用(研究所非会員の方)

該当の空欄にご記入ください

参加者氏名	所属	6月30日		7月1日分科会				参加費 合計	お支払い		宿泊幹旋
		シンホ	懇親会	第1	第2	第3	第4		振込	当日	30日
住所	〒							電話番号			

*** お願い ***

参加される会場の欄にはすべて 印をご記入ください。
団体会員の構成員の方も会員価格でご参加いただけます。
FAXを送信いただいた場合で電話で着信確認をおとりください。
定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
宿泊は「コープイン京都」を予定しています。部屋の予約は当研究所にて行います。宿泊代は各自でご清算ください。

くらしと協同の研究所

〒604-0851 京都市中京区夷川通
烏丸東入ル西九軒町 291
TEL 075-256-3335
FAX 075-211-5037
e-mail :kki@ma1.seikyoku.ne.jp
「ma1」は数字の「1」